

議会の概要

令和六年版



桑名市議会事務局



「桑名市」の市章（平成16年12月6日制定）

水と緑が交流の輪を描く様子を表現し、その中央にハマグリの姿を描き市の文化や歴史をイメージしました。

円満に発展し、快適で住みよい桑名市を象徴しています。

桑名市章の由来

本市の市章は、全国から寄せられた応募から選ばれました



桑 名 市 の 花 ・ 木

（平成21年12月1日制定）



市の花「ハナショウブ」



市の木「ハナミズキ」



○ 人権尊重都市宣言

私たちは、だれでも平和のうちに人権が尊重される自由で幸せな生活をしたいと願っています。

しかしながら、現実の社会生活においては、今なおさまざまな人権侵害事象が見られるところであり、これを解決することは私たちに課せられた緊急の課題であります。今こそ、人間の自由と平等の精神を徹底し、差別のない民主的で明るく住みよい社会を築いて行かねばなりません。

よって、私たちは、市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる都市の実現を期し、ここに桑名市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成 17 年 10 月 5 日議決)

○ 非核平和都市宣言

全人類の共存共栄と、美しい自然と緑のこの地球を核から守るため、私たち桑名市民は、人類史上最初の核被爆国民として、非核三原則を厳守し世界の恒久平和を切望して、ここに「非核平和都市」となることを宣言します。

(平成 17 年 10 月 5 日議決)

○ 交通安全都市宣言

交通事故のない社会の実現は、市民すべての願いであります。

しかし、車社会の伸展と道路交通網の拡充に伴い、道路交通量が著しく増大し、交通事故は年々増加傾向にあり、まことに憂慮すべき状況にあります。

交通事故を防止するためには、交通環境の改善を図るとともに、市民自らが交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践することです。

よって、市民一人ひとりが交通安全意識を高め、交通事故のない安全で安心して暮らせるまちの実現に努力することを決意し、ここに桑名市を「交通安全都市」とすることを宣言します。

(平成 17 年 10 月 5 日議決)

○ 青少年健全育成都市宣言

21 世紀を切り拓き、明日の桑名市を担う者は、青少年であります。

青少年が、豊かな心と健やかな体を備え、教養と創造性に富んだ人間として成長し、自身の輝かしい未来を開き、社会の形成に主体的に参画することは、全市民の願いであります。

その実現のためには、青少年自身が自覚と誇りを持って努力すると共に、すべての市民が協調・連携して青少年育成に取り組むことが重要であります。ここに青少年が健やかに育つまちづくりに全市民が邁進することを決意し、桑名市を「青少年健全育成都市」とすることを宣言します。

(平成 17 年 10 月 5 日議決)

○ 暴力追放都市宣言

最近暴力行為はますます増加する傾向を示し、今や市民への大きな脅威となってきました。安全で安心できる地域社会の実現を望む市民にとって反社会的な暴力行為は断じて許すことはできません。

よって、ここに市民の総力を結集して明るく住みよい桑名市を実現するため、「暴力追放都市」とすることを宣言します。

(平成 17 年 10 月 5 日議決)

○ 子どもの笑顔を守るまち くわな

～子どもを虐待から守る都市宣言～

子どもは、家族にはもちろん、地域・社会の宝であり、未来を担う希望です。

子ども一人ひとりの豊かな成長は、だれからも妨げられてはいけません。ましてや、子どもの命や心が脅かされることはあってはなりません。

ここ桑名に暮らすわたしたちは、子どもの健やかな成長を願い、子どもたちが伸びやかに生活できることを望みます。

虐待は身近に起こりうることと心に刻み、子育てに不安や悩みを感じている家庭に気を配り、わたしたち全員で子育てを支えるまちにしていきたいと思います。

わたしたち桑名市民は、ここに 3 つの思いを掲げ、子どもの笑顔を守り、大人の笑顔も輝くまちをつくることを決意し、桑名市を「子どもを虐待から守る都市」とすることを宣言します。

〈3つの思い〉

まもる 子どもの命・こころ・育ちを守ります。

つながる 家庭・地域・関係機関など、子どもにかかわるすべての人がつながりを深め、
ともに助け合います。

まなぶ 一人ひとりが虐待について知り、ともに学び、考えます。

(平成 25 年 7 月 2 日議決)

目 次

I 市 勢

1	概 要	・・・	1
2	人 口 ・ 世 帯 数	・・・	2
3	位 置 と 地 形	・・・	2
4	市 域 の 変 遷	・・・	3
5	地 目 別 土 地 面 積	・・・	3

II 議 会

1	議 会 構 成	・・・	4
2	議 長 ・ 副 議 長	・・・	5
3	議 員	・・・	7
4	常 任 委 員 会	・・・	9
5	議 会 運 営 委 員 会	・・・	9
6	特 別 委 員 会 等	・・・	10
7	議 会 活 動	・・・	11
8	議 員 の 報 酬 ・ 費 用 弁 償 等	・・・	13
9	議 会 事 務 局	・・・	13

III 財 政

1	主 な 事 業	・・・	14
2	会 計 別 当 初 予 算 (対 前 年 度 増 減 比 較 表)	・・・	14
3	一 般 会 計 当 初 予 算 (対 前 年 度 増 減 比 較 表)	・・・	15

I 市政

1 概要

平成16年12月6日に桑名市、多度町及び長島町が合併し、現在の「桑名市」が誕生。

市域は、三重県の北部に位置し、名古屋から25km圏にあり、東は愛知県、北は岐阜県に接しており、西はいなべ市及び員弁郡東員町、南は伊勢湾及び四日市圏域に接している。

地形は、養老山系の南東部に位置する山地・丘陵地帯と伊勢湾に面し、木曾三川と員弁川がつくる沖積平野、輪中に代表される低くて平坦な水郷地帯が広がり、西部丘陵地では名古屋圏でも有数の住宅団地や工業団地が形成されている。

面積は、136.65km²で県土の約2%を占め、人口は、約14万人。

東海道五十三次の42番目の宿駅として発展してきた桑名市は、現在でも高速道路や国道、鉄道など主要幹線が集中する交通の要衝として発展を続けている。

農業は、水稻を基幹作物として、平坦部ではトマト、ナバナなどの施設・露地野菜やシクラメンなどの施設園芸、丘陵地ではミカン、タケノコとの複合経営が行われている。

水産業は、木曾三川河口の汽水域を漁場として、ハマグリ、シジミを始めとする貝類の漁獲と海苔養殖、魚類の漁獲生産と、主に河川域でのシジミや魚類の漁獲が古くから行われている。

商業は、駅前や主要幹線道路の周辺に商店街が形成されているほか、大規模小売店舗や巨大アウトレットモールが大きな集客力を持ち、三重県北勢地域や県外の一部を商圈にもつ県内有数の商業都市として発達してきた。

工業は、全国有数の産地として知られる鋳物製造を始めとして、一般機械器具製造業や金属製品製造業が発達し、その中から「ホーロー鉄器」や「ボールベアリング」が開発された。

このほかにも古くからの「古萬古」、「箆笥」、「サンダル履物」などの伝統的工芸産業も受け継がれている。さらに近年、IT産業等新産業分野が桑名市の工業の一角を占めるようになってきている。

林業は、木材価格の低迷など取り巻く情勢は厳しい一方で、水源かん養、観光や教育の場としての機能が見直されており、森林の公益的機能の視点に立った維持・保全活動が求められている。

また、年間約1,200万人の観光客が訪れる桑名市は、多度山や多度峡、木曾川などの自然資源、六華苑や七里の渡跡、桑名の千羽鶴、多度大社、輪中の郷などの歴史的・文化的資源、長島温泉や大規模アミューズメント施設など、豊富な観光資源を有している。

このように、桑名市は多度山系の緑と木曾三川の水郷が醸し出す自然の豊かさと、宿場町・城下町として栄えた歴史がおりなす調和のとれたすばらしいまちであるとともに、企業誘致に向けた取り組みを強化していることから、新たな産業発展の可能性も高く、地域経済の活性化が期待されている。

令和4年4月には、保育所、児童発達支援事業所、養護老人ホーム、母子生活支援施設、生活介護事業所の5つの機能を1つの施設に集約した多世代共生型施設「福祉ヴィレッジ」を開設するなど、全国に先駆けた取り組みを積極的に行い、持続可能なまちづくりの実現に向けて日々進化を続けている。

2 人口・世帯数

(1) 人口

138,679人（令和6年3月末現在）

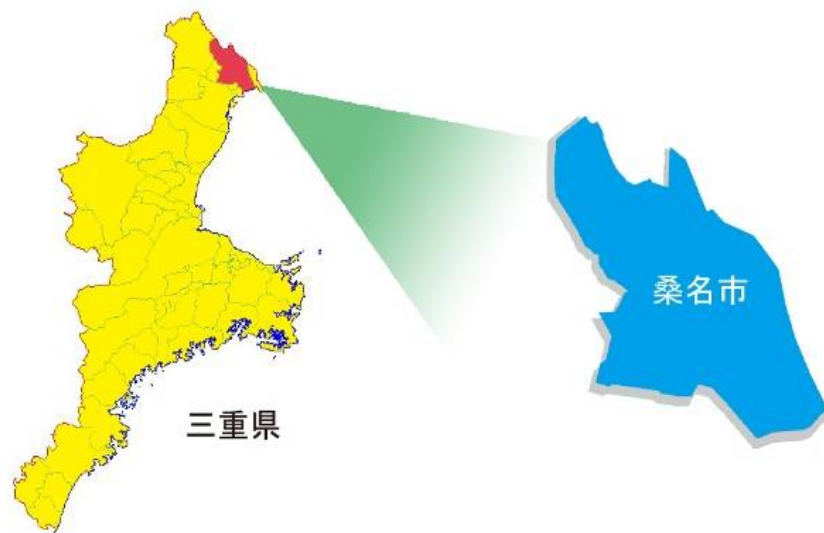
(2) 世帯数

61,844世帯（令和6年3月末現在）

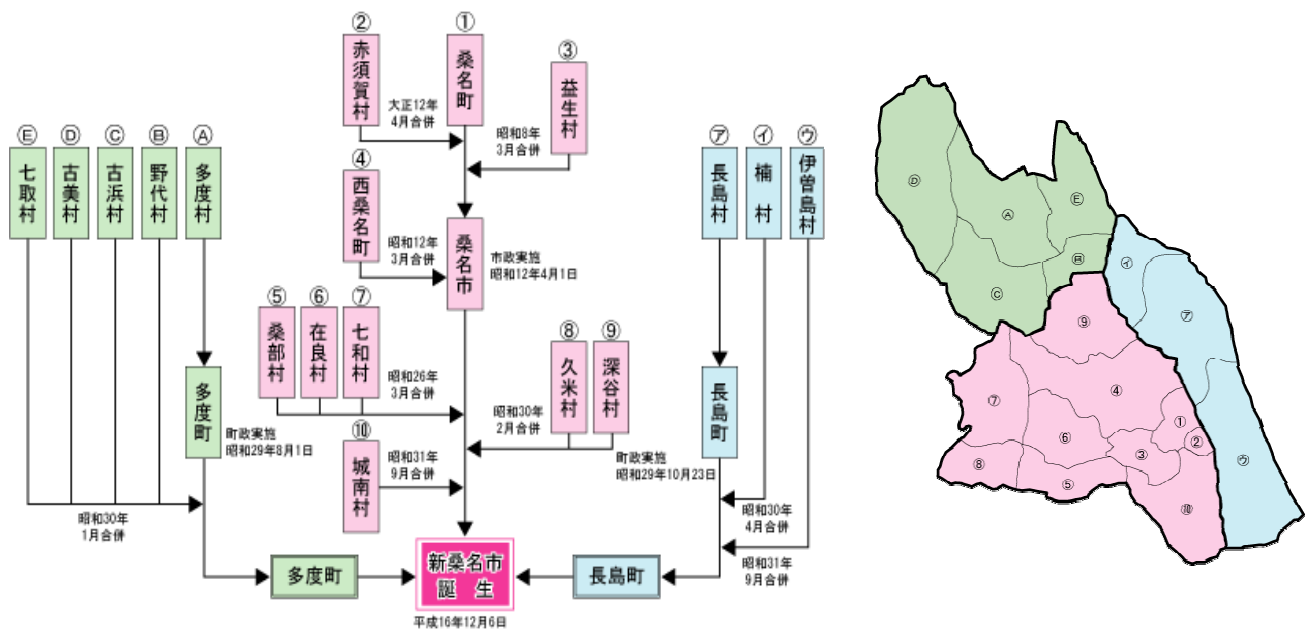
3 位置と地形

桑名市の位置（東経136度41分 北緯35度3分）

総面積 136.65 km²



4 市域の変遷



5 地目別土地面積

単位：m²、%

地目	面積	構成比
総面積	136,650,000	100
田	23,336,722	17.08
畑	6,517,941	4.77
宅地	22,569,299	16.52
池沼	412,744	0.30
山林	10,337,552	7.56
原野	498,297	0.36
雑種地	7,188,193	5.26
その他	65,789,252	48.15

※令和4年1月1日現在

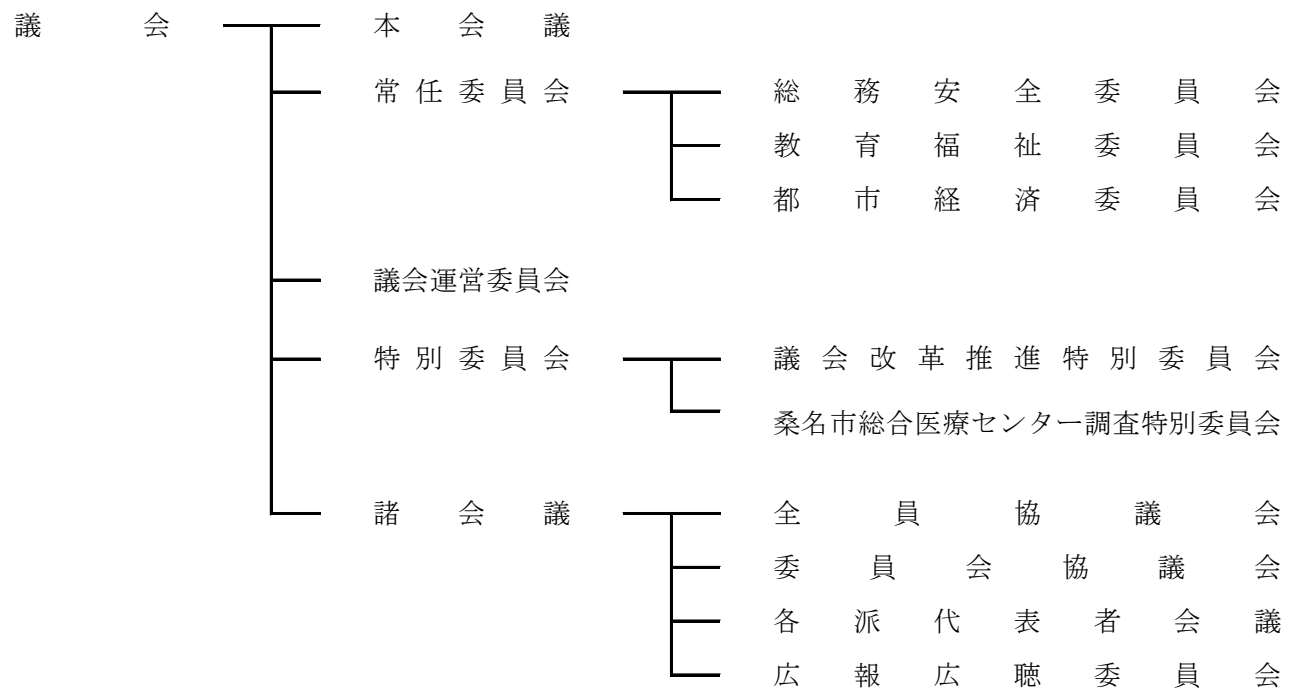
1 議 会 構 成

(1) 議員数

26人（定数26人）

※ 令和6年4月1日現在

(2) 機 構



※ 令和6年4月1日現在

2 議 長 ・ 副 議 長

(1) 議 長

氏 名	任 期
津坂 勝哉	平成 16 年 12 月 14 日 ～ 平成 17 年 12 月 20 日
伊藤 明	平成 17 年 12 月 20 日 ～ 平成 18 年 12 月 5 日
川口 拓夫	平成 18 年 12 月 12 日 ～ 平成 19 年 12 月 5 日
岡村 信子	平成 19 年 12 月 5 日 ～ 平成 20 年 9 月 3 日
堀 良二	平成 20 年 9 月 3 日 ～ 平成 20 年 12 月 9 日
堀 良二	平成 20 年 12 月 9 日 ～ 平成 21 年 12 月 8 日
竹石 正徳	平成 21 年 12 月 8 日 ～ 平成 22 年 12 月 5 日
佐藤 肇	平成 22 年 12 月 7 日 ～ 平成 23 年 12 月 6 日
安藤 寛雅	平成 23 年 12 月 6 日 ～ 平成 24 年 12 月 26 日
飯田 一美	平成 24 年 12 月 26 日 ～ 平成 25 年 12 月 3 日
堀 良二	平成 25 年 12 月 3 日 ～ 平成 25 年 12 月 15 日
佐藤 肇	平成 26 年 1 月 15 日 ～ 平成 26 年 12 月 5 日
渡邊 清司	平成 26 年 12 月 9 日 ～ 平成 27 年 12 月 2 日
南澤 幸美	平成 27 年 12 月 2 日 ～ 平成 28 年 12 月 7 日
伊藤 真人	平成 28 年 12 月 7 日 ～ 平成 29 年 12 月 5 日
竹石 正徳	平成 29 年 12 月 5 日 ～ 平成 30 年 12 月 5 日
渡邊 清司	平成 30 年 12 月 18 日 ～ 令和元年 12 月 3 日
伊藤 真人	令和元年 12 月 3 日 ～ 令和 2 年 12 月 9 日
南澤 幸美	令和 2 年 12 月 9 日 ～ 令和 3 年 12 月 1 日
辻内 裕也	令和 3 年 12 月 1 日 ～ 令和 4 年 12 月 5 日
南澤 幸美	令和 4 年 12 月 6 日 ～ 令和 5 年 12 月 5 日
富田 薫	令和 5 年 12 月 6 日 ～

(2) 副議長

氏 名	任 期
西田 道夫	平成 16 年 12 月 14 日 ～ 平成 17 年 12 月 20 日
堀 良二	平成 17 年 12 月 20 日 ～ 平成 18 年 12 月 5 日
小林 悟	平成 18 年 12 月 12 日 ～ 平成 19 年 12 月 5 日
佐藤 肇	平成 19 年 12 月 5 日 ～ 平成 20 年 12 月 9 日
安藤 寛雅	平成 20 年 12 月 9 日 ～ 平成 21 年 12 月 8 日
蛭川 正文	平成 21 年 12 月 8 日 ～ 平成 22 年 12 月 5 日

水谷 義雄	平成 22 年 12 月 7 日	～	平成 23 年 12 月 6 日
渡邊 清司	平成 23 年 12 月 6 日	～	平成 24 年 12 月 26 日
平野 和一	平成 24 年 12 月 26 日	～	平成 25 年 12 月 3 日
南澤 幸美	平成 25 年 12 月 3 日	～	平成 26 年 12 月 5 日
伊藤 真人	平成 26 年 12 月 9 日	～	平成 27 年 12 月 2 日
倉田 明子	平成 27 年 12 月 2 日	～	平成 28 年 12 月 7 日
飯田 尚人	平成 28 年 12 月 7 日	～	平成 29 年 12 月 5 日
辻内 裕也	平成 29 年 12 月 5 日	～	平成 30 年 12 月 5 日
松田 正美	平成 30 年 12 月 18 日	～	令和元年 12 月 3 日
富田 薫	令和元年 12 月 3 日	～	令和 2 年 12 月 9 日
愛敬 重之	令和 2 年 12 月 9 日	～	令和 3 年 12 月 1 日
畑 紀子	令和 3 年 12 月 1 日	～	令和 4 年 12 月 5 日
森 英一	令和 4 年 12 月 6 日	～	令和 5 年 12 月 5 日
太田 誠	令和 5 年 12 月 6 日	～	

3 議員

(1) 市議会議員名簿

議席	氏名	期数	党派	所属会派	議席	氏名	期数	党派	所属会派
1	市野 修平	1	無所属	結	14	近藤 浩	2	無所属	未 来
2	柴田 理恵	1	無所属	桑 輝 会	15	森 英 一	2	公明党	公 明 党 桑名市議員団
3	藤本 直子	1	無所属	未 来	16	太田 誠	2	無所属	絆
4	伊藤 知美	1	無所属	未 来	17	富田 薫	3	無所属	結
5	近藤 奈歩	1	無所属	桑 輝 会	18	畑 紀子	4	公明党	公 明 党 桑名市議員団
6	太田 国男	1	無所属	結	19	愛敬 重之	4	無所属	フォーラム 新 桑 名
7	永野 元康	1	無所属	無 会 派	20	飯田 尚人	4	無所属	無 会 派
8	服部 喜幸	1	無所属	結	21	松田 正美	4	無所属	フォーラム 新 桑 名
9	渡辺 仁美	2	無所属	結	22	倉田 明子	5	無所属	絆
10	森下 幸泰	2	無所属	絆	23	伊藤 真人	6(6)	無所属	フォーラム 新 桑 名
11	水谷 憲治	2	無所属	未 来	24	伊藤 恵一	6(6)	無所属	無 会 派
12	多屋 真美	2	共産党	無会派(日本共 産党桑名市議員団)	25	南澤 幸美	6(7)	無所属	未 来
13	成田 久美子	2	無所属	結	26	伊藤 研司	6(9)	無所属	無 会 派

※ 令和6年4月1日現在、期数の()は通算

(2) 年齢別・通算当選回数別議員数

単位：人

年齢 \ 回数	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	合計
80 ～ 89 歳											
70 ～ 79 歳				1		2					3
60 ～ 69 歳	3	4		2	1	2					12
50 ～ 59 歳	1	2	1	1							5
40 ～ 49 歳	3	2									5
30 ～ 39 歳	1										1
25 ～ 29 歳											
合 計	8	8	1	4	1	4					26

※ 令和6年4月1日現在

(3) 党派別・会派別議員数

単位：人

党派名 \ 会派名	公明党	日本共産党	無所属	合計
結			6	6
未 来			5	5
フ ォ ー ラ ム 新 桑 名			3	3
絆			3	3
公 明 党 桑 名 市 議 員 団	2			2
桑 輝 会			2	2
無 会 派		1	4	5
合 計	2	1	23	26

※ 令和6年4月1日現在

4 常任委員会

(1) 構成員

委員会名	委員長	副委員長	委員			
総務安全	成田 久美子	水谷 憲治	服部 喜幸 愛敬 重之 伊藤 研司	太田 誠 飯田 尚人	富田 薫 南澤 幸美	
教育福祉	森下 幸泰	渡辺 仁美	市野 修平 近藤 奈歩 松田 正美	藤本 直子 多屋 真美	伊藤 知美 畑 紀子	
都市経済	森 英一	倉田 明子	柴田 理恵 近藤 浩	太田 国男 伊藤 真人	永野 元康 伊藤 恵一	

※ 令和6年4月1日現在

(2) 所管事項

委員会名	所管事項
総務安全	防災・危機管理分野、まちづくり分野、文化分野、国内交流分野、コミュニケーション活動分野、行財政分野、公共施設分野、地域コミュニティ分野、環境・廃棄物対策分野、防犯・交通安全分野、男女共同参画分野、生涯学習分野、スポーツ分野、人権政策分野、公共交通分野、消防・救急分野に関する事項並びに他の常任委員会の分野に属しない事項
教育福祉	地域福祉分野、医療保険・生活保護分野、子ども・子育て支援分野、障害者（児）福祉分野、介護保険・高齢者福祉分野、地域医療・健康づくり分野、学校教育分野、国際理解教育分野、人権教育分野に関する事項
都市経済	商業・工業分野、国際交流分野、プロモーション活動分野、農林水産業分野、都市デザイン分野、中心市街地分野、道路分野、河川分野、上下水道分野に関する事項

5 議会運営委員会

(1) 構成員

委員長	副委員長	委員		
南澤 幸美	渡辺 仁美	市野 修平 松田 正美	太田 国男 倉田 明子	近藤 浩

※ 令和6年4月1日現在

(2) 所管事項

- ア 会期の決定及び議事日程の作成に関する事
- イ 会議における議事進行に関する事
- ウ 緊急質問、意見書その他議員の提出する議案の取り扱いに関する事
- エ 議会関係例規の制定、改廃に関する事
- オ 請願、陳情の取り扱いに関する事
- カ 議長との諮問事項に関する事
- キ その他議会運営上必要と認めた事項に関する事

6 特 別 委 員 会 等

(1) 議会改革推進特別委員会

ア 構成員

委員長	副委員長	委員		
畑 紀子	市野 修平	藤本 直子 近藤 浩	近藤 奈歩 太田 誠	成田 久美子 伊藤 真人

※ 令和6年4月1日現在

イ 目的

開かれた議会とともに、市民にとって分かりやすい議会運営を目指し、より良い議会のあり方を構築するため

(2) 桑名市総合医療センター調査特別委員会

ア 構成員

委員長	副委員長	委員		
松田 正美	倉田 明子	市野 修平 渡辺 仁美	柴田 理恵 水谷 憲治	伊藤 知美 森 英一

※ 令和6年4月1日現在

イ 目的

桑名市総合医療センターの経営状況について調査するため

(3) 予算特別委員会

12月定例会設置予定

(4) 決算特別委員会

決算議案審査時に設置予定

(5) 広報広聴委員会

ア 構成員

委員長	副委員長	委員		
太田 誠	伊藤 知美	近藤 奈歩 森 英一	服部 喜幸 愛敬 重之	森下 幸泰

※ 令和6年4月1日現在

イ 目的

議会の活動状況に関する情報を広く市民に知らせるとともに市民の多様な意見を聴き、もって市民の議会に対する関心を高めるため

7 議 会 活 動

(1) 本会議開催状況(令和5年度)

会 議 名	会 期	会議日数	会議時間	傍聴者数
令和5年5月臨時会	1日(5/2)	1日	46分	2人
令和5年6月定例会	22日(6/8～6/29)	6日	18時間10分	68人
令和5年8月臨時会	1日(8/1)	1日	7分	0人
令和5年9月定例会	29日(8/31～9/28)	6日	19時間02分	63人
令和5年12月定例会	22日(12/6～12/27)	7日	20時間59分	113人
令和6年1月臨時会	1日(1/23)	1日	17分	0人
令和6年3月定例会	31日(2/20～3/21)	6日	19時間30分	66人
合 計	107日	28日	78時間51分	312人

(2) 委員会・協議会等開催状況(令和5年度)

単位：回

月 会議名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
総務安全委員会	1	1	1	1		2		1	1	1		1	10
教育福祉委員会	1	2	1	1	1	4	2	2	2	2	1	4	23
都市経済委員会	1		1	1	1	1		1	2	1		3	12
議会改革推進特別委員会		1		1									2
桑名市総合医療センター調査特別委員会					1								1
予算特別委員会全体会									1		3	1	5
予算・総務安全分科会												1	1
予算・教育福祉分科会												1	1
予算・都市経済分科会												1	1
決算特別委員会全体会						2							2
決算・総務安全分科会						1							1
決算・教育福祉分科会						1							1
決算・都市経済分科会						1							1
議会運営委員会	1	1	5	1	2	3		1	4	1	4	2	25
各派代表者会議	2	2	3	2	2	1		1	7	1	3	2	26
全員協議会	1	1		1	1			1	1	2	2	1	11
総務安全委員会協議会	1		1	1									3
教育福祉委員会協議会	1	1	1	1		2			1				7
都市経済委員会協議会									2				2
広報広聴委員会	2		1	1	2		2		1		2		11
合 計	11	9	15	11	10	18	4	7	23	8	16	17	149

(3) 議案等審議状況(令和5年度)

単位：件

会 議 名	市長提出					議員提出			選 挙	陳請 情願	合 計
	条 例	予 算	決 算	処専 分決	そ の 他	条 例	意決 見 書議	そ の 他			
令和5年5月臨時会		1		4			1				6
令和5年6月定例会	12	3			18		2				35
令和5年8月臨時会					1						1
令和5年9月定例会	4	4			9		5			4	26
令和5年12月定例会	4	12			8		3				27
令和6年1月臨時会		1			1						2
令和6年3月定例会	27	17			9	1	1			1	56
合 計	47	38		4	46	1	12			5	153

(4) 議案等審議結果(令和5年度)

単位：件

会 議 名	可原 決案	議修 決正	否 決	同 意	認 定	承 認	採 択	採一 択部	不 採 択	審継 査続	取 下 げ	合 計
令和5年5月臨時会	6											6
令和5年6月定例会	35											35
令和5年8月臨時会	1											1
令和5年9月定例会	22						4					26
令和5年12月定例会	26		1									27
令和6年1月臨時会	2											2
令和6年3月定例会	55								1			56
合 計	147		1				4		1			153

8 議員の報酬・費用弁償等

(1) 報酬

議 長	副議長	議 員
月額 590,000 円	月額 510,000 円	月額 460,000 円

(2) 出張旅費

鉄道賃 船 賃	車賃 (1 kmにつき)	日当 (1 日につき)	宿泊料 (1 夜につき)
普通旅客運賃	23 円 ※	750 円	14,800 円

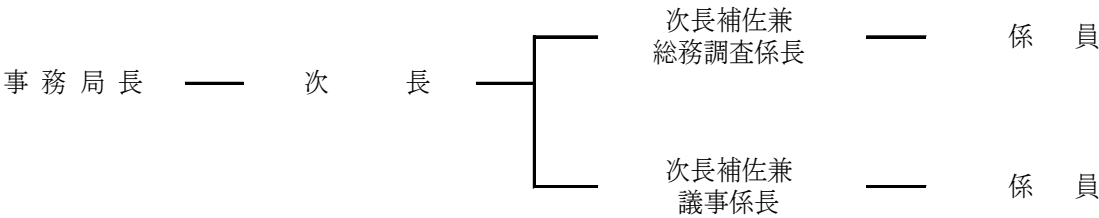
※令和元年 12 月 3 日より

(3) 政務活動費

月額 50,000 円

※ 会派に対しては各会派の所属議員数に応じ、議員 1 人当たり月額 50,000 円を乗じた額を、議員に対しては月額 50,000 円を前期（4 月から 12 月まで）及び後期（翌年 1 月から 3 月まで）に分けて交付。

9 議会事務局



Ⅲ 財 政

令和6年度予算においては、人口減少や気候変動などの課題に対応するために、様々な分野で「行政変革」を進めていく「新時代への扉を切り拓く」予算とした。現在進行している重点プロジェクトの各事業を推進していくほか、令和6年能登半島地震を受けて、まちづくりを支える三本の柱の一角である「防災力の強化」へより一層注力する。

(1) 主な事業

【感震ブレーカー設置補助事業費】

南海トラフ地震の発生が危惧される中、地震発生時に自動的に電気の供給を遮断することができる感震ブレーカーの設置を促進することで、未然に火災被害の防止を図る。

【消防庁舎等再編整備事業費】

消防本部の高台移転に加え、大山田地区市民センター・まちづくり拠点施設等との複合施設を建設することで、市民の安全・安心を確保し、さらなる強固な防災体制の確立と市民サービスの向上を図る。

【結婚新生活支援事業費】

結婚に伴う新生活を経済的に支援し、少子化対策の推進に資することを目的に、新婚世帯の住宅取得費用、住宅のリフォーム費用及び住宅賃借費用並びに引っ越し費用の補助を行う。

【スポーツ施設改修事業費】

総合運動公園のサッカーメイングラウンドの人工芝について、利用者の安全性を確保するための修繕を行う。

(2) 会計別当初予算(対前年度増減比較表)

単位：千円、%

区 分		令和6年度	令和5年度	比 較	
		予算額	予算額	増減額	増減率
一般会計		63,949,752	54,367,340	9,582,412	17.6
特 別 会 計	国民健康保険事業	12,806,867	13,216,979	▲410,112	▲3.1
	農業集落排水事業		193,377	▲193,377	皆減
	介護保険事業	11,096,519	11,199,368	▲102,849	▲0.9
	後期高齢者医療事業	3,946,223	3,543,329	402,894	11.4
	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 施設整備等貸付事業	1,013,722	1,073,522	▲59,800	▲5.6
	合 計	28,863,331	29,226,575	▲363,244	▲1.2
企 業 会 計	水道事業	5,818,462	6,029,612	▲211,150	▲3.5
	下水道事業	10,211,195	9,762,678	448,517	4.6
	合 計	16,029,657	15,792,290	237,367	1.5
総 計		108,842,740	99,386,205	9,456,535	9.5

(3) 一般会計当初予算（対前年度増減比較表）

ア 歳入

① 款別比較表

単位：千円、％

区 分	令和6年度		令和5年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増 減 額	増減率
1 市税	22,016,715	34.4	22,279,785	41.0	▲ 263,070	▲ 1.2
うち 市民税（個人）	8,763,063	13.7	9,456,433	17.4	▲ 693,370	▲ 7.3
うち 市民税（法人）	1,206,403	1.9	1,001,680	1.8	204,723	20.4
うち 固定資産税	9,645,633	15.1	9,511,145	17.5	134,488	1.4
2 地方譲与税	417,260	0.7	398,952	0.7	18,308	4.6
3 利子割交付金	13,000	0.0	14,000	0.0	▲ 1,000	▲ 7.1
4 配当割交付金	155,000	0.2	178,000	0.3	▲ 23,000	▲ 12.9
5 株式等譲渡所得割交付金	130,000	0.2	251,000	0.5	▲ 121,000	▲ 48.2
6 法人事業税交付金	350,000	0.6	139,000	0.3	211,000	151.8
7 地方消費税交付金	3,204,000	5.0	3,299,000	6.1	▲ 95,000	▲ 2.9
8 ゴルフ場利用税交付金	46,000	0.1	46,000	0.1	0	0.0
9 環境性能割交付金	76,000	0.1	53,000	0.1	23,000	43.4
10 地方特例交付金	867,427	1.4	108,439	0.2	758,988	699.9
11 地方交付税	5,310,000	8.3	4,820,000	8.9	490,000	10.2
(1) 普通交付税	4,500,000	7.0	4,010,000	7.4	490,000	12.2
(2) 特別交付税	810,000	1.3	810,000	1.5	0	0.0
12 交通安全対策特別交付金	15,000	0.0	15,000	0.0	0	0.0
13 分担金及び負担金	1,420,406	2.2	1,419,629	2.6	777	0.1
14 使用料及び手数料	830,846	1.3	807,999	1.5	22,847	2.8
15 国庫支出金	9,994,157	15.6	7,673,439	14.1	2,320,718	30.2
16 県支出金	3,799,502	5.9	3,667,195	6.7	132,307	3.6
17 財産収入	111,266	0.2	79,597	0.1	31,669	39.8
18 寄附金	500,000	0.8	500,000	0.9	0	0.0
19 繰入金	5,556,156	8.7	4,000,403	7.4	1,555,753	38.9
うち 財政調整基金繰入金	3,152,928	4.9	2,474,500	4.6	678,428	27.4
20 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
21 諸収入	847,916	1.3	598,501	1.1	249,415	41.7
22 市債	8,289,100	13.0	4,018,400	7.4	4,270,700	106.3
うち 臨時財政対策債	250,000	0.4	542,000	1.0	▲ 292,000	▲ 53.9
合 計	63,949,752	100.0	54,367,340	100.0	9,582,412	17.6

イ 歳出

② 款別・性質別比較表

単位：千円、%

区 分	令和6年度		令和5年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増 減 額	増減率
[款 別]						
1 議会費	362,449	0.6	354,675	0.7	7,774	2.2
2 総務費	6,590,128	10.3	6,609,501	12.2	▲ 19,373	▲ 0.3
3 民生費	21,886,082	34.2	20,731,019	38.1	1,155,063	5.6
4 衛生費	5,328,120	8.3	4,753,521	8.7	574,599	12.1
5 労働費	45,300	0.1	48,300	0.1	▲ 3,000	▲ 6.2
6 農林水産業費	985,889	1.5	993,095	1.8	▲ 7,206	▲ 0.7
7 商工費	273,444	0.4	281,701	0.5	▲ 8,257	▲ 2.9
8 土木費	5,285,216	8.3	4,150,721	7.6	1,134,495	27.3
9 消防費	4,198,933	6.6	3,631,095	6.7	567,838	15.6
10 教育費	11,246,748	17.6	5,386,872	9.9	5,859,876	108.8
11 公債費	5,881,671	9.2	5,695,716	10.5	185,955	3.3
12 諸支出金	1,835,772	2.9	1,701,124	3.1	134,648	7.9
13 予備費	30,000	0.0	30,000	0.1	0	0.0
合 計	63,949,752	100.0	54,367,340	100.0	9,582,412	17.6
[性質別]						
1 人件費	10,560,894	16.5	9,738,340	17.9	822,554	8.4
(1) 議員報酬手当	195,212	0.3	193,755	0.3	1,457	0.8
(2) 特別職の給与	49,514	0.1	49,090	0.1	424	0.9
(3) 職員給	7,087,990	11.1	7,001,035	12.9	86,955	1.2
(4) 退職金	319,088	0.5	98,318	0.2	220,770	224.5
i 退職手当	255,182	0.4	37,768	0.1	217,414	575.7
ii 退職手当組合負担金	63,906	0.1	60,550	0.1	3,356	5.5
(5) その他	2,909,090	4.5	2,396,142	4.4	512,948	21.4
2 物件費	9,162,820	14.4	8,983,867	16.5	178,953	2.0
3 維持補修費	616,096	1.0	494,488	0.9	121,608	24.6
4 扶助費	13,239,050	20.7	12,347,122	22.7	891,928	7.2
5 補助費等	6,977,290	10.9	6,040,616	11.1	936,674	15.5
6 投資的経費	12,299,177	19.2	5,659,510	10.4	6,639,667	117.3
(1) 普通建設事業費	12,299,177	19.2	5,659,510	10.4	6,639,667	117.3
(2) 災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7 公債費	5,881,671	9.2	5,697,636	10.5	184,035	3.2
8 積立金	568,561	0.9	721,145	1.3	▲ 152,584	▲ 21.2
9 投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10 貸付金	61,900	0.1	61,600	0.1	300	0.5
11 繰出金	4,552,293	7.1	4,593,016	8.5	▲ 40,723	▲ 0.9
12 予備費	30,000	0.0	30,000	0.1	0	0.0
合 計	63,949,752	100.0	54,367,340	100.0	9,582,412	17.6
義務的経費 1+4+7	29,681,615	46.4	27,783,098	51.1	1,898,517	6.8
投資的経費	12,299,177	19.2	5,659,510	10.4	6,639,667	117.3
その他の経費	21,968,960	34.4	20,924,732	38.5	1,044,228	5.0